



このコーナーではクルマに関する
為になる雑学をご紹介します。
意外と知らないことがあるかも!?



普段何気なく乗っている車にも、実は意外な歴史やトリビア
がたくさん詰まっています。

そこで今回は、思わず「へえ!」と言ってしまう様々な車の雑学
や豆知識をご紹介します。ドライブ中の会話のネタに困って
いる方や、車好きの方、また子どもに車をもっと好きになっ
てもらいたい方にピッタリ! 誰かに教えたくなるような車の小ネ
タを覚えちゃおう!

1 車の歴史にまつわる豆知識

世界初の自動車はどんな車だった?

世界で最初に作られた自動車は、1885年にカール・ベンツが開発した
「ベンツ・パテント・モートルヴァーゲン」です。三輪車の形をしており、エンジンはたった0.75馬力。最高速度は16km/hほどでした。



ベンツの「パテント・モートル
ヴァーゲン」は後車軸上
部にエンジンを備えた後
輪駆動の三輪自動車。
多くの新機軸が盛り込ま
れ、鋼管と木製の板で構
成されていた。

日本で最初に車が走ったのはいつ?

日本で初めて自動車が走ったのは1901年。東京・新橋から横浜まで
を走ったのが最初とされています。当時の人々は「動く馬なし馬車」に
驚き、沿道には多くの見物人が集まったそうです。

「ハンドル」は最初なかった?

初期の車にはハンドルがなく、船の舵のようなレバーで操縦して
いました。現在の丸いハンドルが登場したのは20世紀に入っ
てからです。



2 車名やメーカーに関する豆知識

車の名前には深い意味がある

多くの車名には、メーカーの想いが込められています。
名前の意味を知ると、その車への興味も深まります。

- トヨタ「プリウス」: ラテン語で「先駆け」
- ホンダ「フィット」: 英語で「ぴったり合う」
- 日産「エクストレイル」: 「過酷な道でも進む」という意味

エンブレムの秘密

各メーカーのエンブレムには象徴的な意味が込められています。
エンブレムの形状でメーカーのモノづくりの思いが伝わってきます。

- トヨタ: 3つの楕円が「顧客」「車」「未来」を表現
- ホンダ: 翼をイメージし「飛躍」を象徴
- スバル: プレアデス星団を模した6つ星

3 意外と知らない豆知識

「シガーソケット」の由来

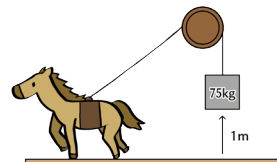
元々「葉巻に火をつけるため」の装置でした。
現在ではスマホ充電や電源供給用に活躍していますが、
その名残で「シガーソケット」と呼ばれ続けています。

ワイパーの発明者は女性

1903年、アメリカのメアリー・アンダーソンが、視界を
確保するためにワイパーを発明しました。当時は「そんな
もの必要ない」とされましたが、今では必須の装備ですね。

エンジンの「馬力」って本当に馬?

「馬力(HP)」は、エンジンの力を馬の力に例えた単位です。
1馬力は「1秒間に75kgの物を1メートル動かす力」で、実際に馬が発揮する力
ではなく、理論的な基準値として決められました。



イギリスは「左側通行」

イギリスが左側通行なのは、騎士が右手で剣を振るうため道の左側を歩いて
いた名残だと言われています。
日本もこれに倣い、同じく左側通行を採用しています。